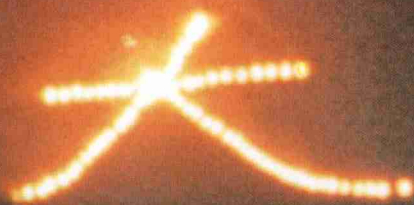


# 上京

---

## 史蹟と文化



上京の史蹟⑮  
上京区民サークル発表会  
京都御苑の公家屋敷址発掘  
講演と映画の集い  
絵手紙教室  
上京春の茶会  
上京クイズ

VOL. **15** 1998

# 上京の史蹟

その十五

## 上京の歴史的推移

京都を救った人々(四) (明治その八)

やまもと かくま よしはる  
山本覚馬良晴

(一八二八—一八九二) (その二)

王政復古のクーデターによって思惑の外れた徳川慶喜は、京都市中での争いを避け、旗本を始め会津、桑名を中心とした佐幕派の軍勢を率き連れ、二条城から一日大坂へ退去します。大政が奉還され、徳川慶喜の大坂への退去によって討幕の口実を失った薩摩藩は、江戸市中や関東各地の幕府領において挑発行為を行います。この挑発に乗った旗本や会津、桑名の藩士たちは、大坂城内で幕府勢力の復活を叫び「打倒薩摩」の機運を盛り上げます。慶応四年(一八六八)一月三日、京都奪回を企てる旧幕府の佐幕派連合軍一万五



旧竹田街道に架かる小枝橋  
この橋をはさんで戊辰戦争がはじまった。

千の軍勢は大坂城を出発。これを迎え撃つ薩摩、長州軍は、広島、土佐軍を含めても僅かに五千の兵力でした。淀城において二手に別れた旧幕府連合軍は、鳥羽、伏見方面より京都に向かつて進軍を開始。主力部隊は伏見奉行所に本陣を構え、鳥羽方面に向かった別動隊は、午後四時ごろ、薩摩軍が守備



錦絵 鳥羽・伏見の戦い 慶応4年(1868)

旧幕軍と、それを阻止しようとする薩摩軍との間で押し問答が続きます。これに痺れを切らした旧幕軍の一隊が強引に北進を開始し、鴨川に架かる小枝橋を渡り始めた時、薩摩軍より一発の銃弾が発射されます。これに対して旧幕軍が直ちに応戦を始めました。ここに政権を賭けた「鳥羽、伏見の戦い(戊辰戦争)」の幕が切って落とされたのです。

覚馬、捕虜となり  
幽閉される

このとき覚馬は京都に滞在していました。知人が彼に藩主に従って大坂へ赴くよう勧めますが、彼は、明敏な徳川慶喜や幕閣の中樞部がよもや薩長に対して戦いを挑むとは考えてもいませんでした。そのような事より、一人京都に留まり、洋学所において後進の指導

を固める城南宮の付近に姿を現します。ここで鴨川を渡り、入京しようとする

に当たることの重大性を考えていたのです。だから塾生には「君達は学生だ



小枝橋の畔に建つ「鳥羽・伏見戦跡」の碑

涯における初めての挫折でした。しかし、その一方では、今まで我武者羅に走り続けてきた己の足跡を見直す絶好の機会でもありました。

彼の広大な知識と会津武士としての気骨は、薩摩藩内でも広く知られていたため、囚われの身でありながら彼に対する処遇は誠に鄭重であつたと伝えられます。獄舎を管理していた淵邊直右衛門は、上役からだとして黒羽二重の紋付を持参し「京の寒さはひとしおです、何卒、これをお召しください」と差し入れたといひます。また、「何かほかか不便なことがあれば遠慮なく番卒に申し付けてください。出来得る限り取り計らいます」と、鄭重に挨拶したのに対し、覚馬は「ご覧

の通りの盲目で、足も不自由です。數物があればお貸し願いたい。それに、欠かしたことの無い晩酌を所望したい」と答えます。「なんの、それくらい容易なことです」と、余分の夜具と毎日酒一升あてが届けられました。その上、他の囚人は土間で寝起きをしていましたが、彼には特別に床板張りの畳の部屋が用意されました。

彼の獄中生活は、毎朝冷水で身を清め、同囚の者を集めて時事講座を開講しています。その中で

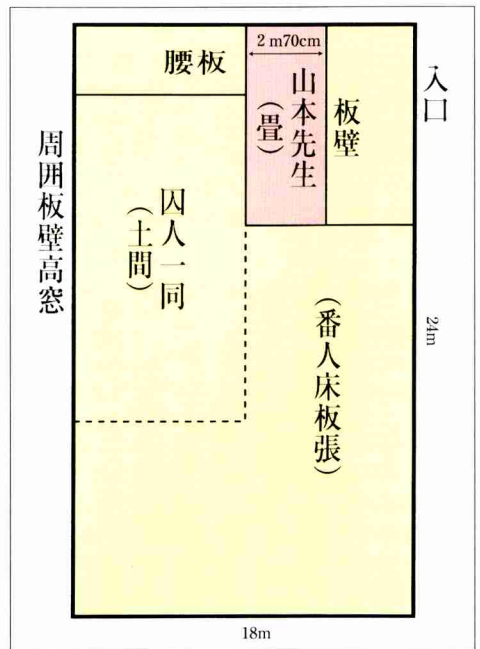
幕藩体制や各藩の権力抗争に批判的であり、常に国内の統合を主張し、海外交易の重要性を主張して止まなかつた覚馬の思想は、既に他の藩にも知れ渡っていました。そのため、薩摩藩は彼を処刑せず、烏丸今出川の薩摩藩邸（現在の同志社）に幽閉しました。彼にとってこの幽閉生活は生



山本 覚馬

彼が強調したのは「海外の列強がわが国を伺っている今日、国内で戦いをしていゝる場合ではない、そのようなことで多くの軍兵や巨額の軍費を消費すれ

この「管見」には、政治、経済は勿論のこと、男女の学校教育、衛生、衣食、風俗、貿易、軍事に至るまで、日本の近代化を促進するための最重要事項が西洋の例を挙げ事細かに記されています。彼のこれらの意見は、西洋の原書から得た知識と、師弟、交友関係にあつた佐久間象山、勝海舟、あるい



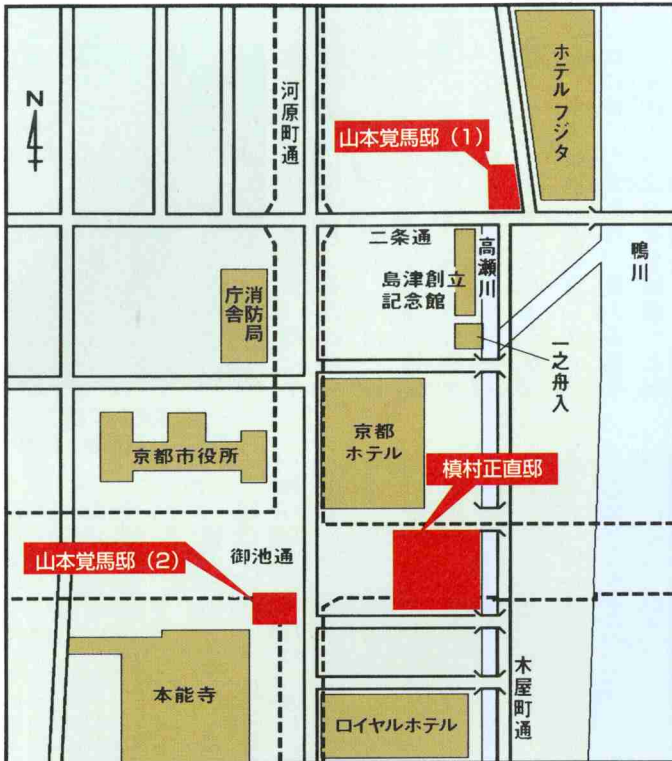
幽閉所間取り図

ば、国力の低下はいうに及ばず、外国の乗ずるところとなる。これはわが国にとって由々しき一大事である」と、言う事でした。また、同時に、自らの意見を薩摩の島津公に進言するため「管見（自分の見識や見解を謙遜して言う事）」として纏めます。目の不自由な彼は、会津藩士で同囚だつた野沢鶏一に口述筆記させました。

は、当時急進学者として知られていた西周、津田真道などの議論を集約して構築されたもので、これを一読した西郷隆盛や岩倉具視などは、その卓越した見識に敬服し、後に、遷都によって空洞化した京都の再建と近代化に彼の知識が生かされることとなります。

### 京都府顧問

江戸時代、京都の行政は、幕府直轄



--- 線は現在の道路です

河原町御池見取り図

地として京都町奉行所によって執り行なわれていました。しかし、慶応三年、王政復古が宣言されるや、新政府の樹立によって京都町奉行所は廃止され、その代わりに、京都市中取締所がその機能を引き継ぎます。その後、新政府の行政機能が整備されるに伴い、翌慶応四年三月三日には「京都裁判所」と名称が変更されました。この「裁判」という言葉は、現在私たちが用いている意

味とは異なり、物事を治め管理する、特に、民政を管理統括するという意味を持つものでありました。ところが、この京都裁判所も、二か月足らずのうちにまたも改称され、同年四月二十九日、京都府となったのです。このように、維新の黎明期には新政府が如何に試行錯誤を繰り返したかが伺われます。

さて、明治二年（一八六九）、一年に亘る幽閉生活から釈放された覚馬のもとへ、成立間もない京都府の権大参事・榎村正直から協力要請の依頼が届きます。当時の京都は、維新の騒乱からはようやく解放されたものの、天皇の東行による地盤沈下が甚だしく、行政としてもこれを如何に立て直すか、に苦慮していました。当初京都府は、啓蒙家で知られる西周を顧問としてこの難題に取り組む予定でしたが、

西郷や岩倉、西の強力な推薦により、覚馬を京都府顧問として迎えることになったようです。

釈放された覚馬は二条橋の西詰めに暫く住んでいますが、その後、河原町御池下る西南角（現在本能寺会館）に移転します。この家は約百坪程の屋敷で江戸を欠所となった新門辰五郎が住んでいたと言われ、その北側（現在御池通り）に榎村正直の家があったそう

で、裏からも互いに往来できると言われます。榎村は後に御池の高瀬川沿いに屋敷を建てて移りますが、それでも僅かな距離であったので、常に覚馬を訪ね指導を仰いでいます。

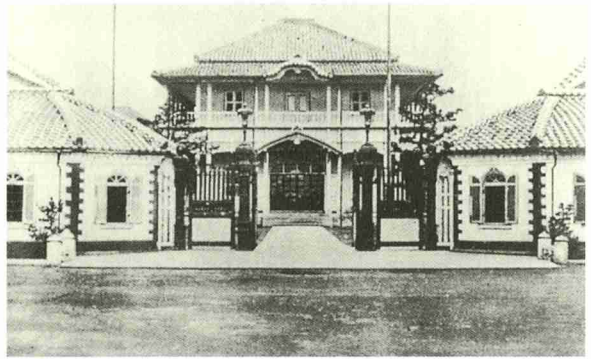
新政府は京都府が遷都によって天皇から下賜された産業基金十萬円を都市再興の財源として運用する上で、覚馬の見識を採り入れると共に、文明開化の伸展を猪突猛進に押し進める権大参事・榎村正直を牽制出来得る人物として、彼を送り込んだといえましょう。もはや両眼は完全に失明し、脊椎の損傷によって歩行も困難になっていた彼は、故郷の会津に帰ることを諦め、京都に踏み止まり、京都復興に尽力することを決断します。

### 京都府採用と彼の業績

明治四年（一八七二）、それまで覚馬から非公式に意見を聞いていた榎村は、正式に京都府への採用を決定します。覚馬が最初に手を付けたのは産業都市としての京都の再興です。即ち、前年に設立された物産引立所による産業の奨励でした。旧幕府時代の京都の商工業界は、各商工業者の地位や資格が暗黙のうちに確立しており、そこには競争の原理がほとんど働いていませ

んでした。しかし、維新後の政策によりその様な保守的状況は失われつつあり、必要に応じた新たな産業基盤が作られるようになり、彼が記した管見の「建国術」の項目で「国力をつけるためには、農業中心から商業中心の社会へ移行しなければならぬ」と訴えています。彼は豊富な海外知識から諸外国の実績を分析し、その結果、イギリスの功利および商業主義を採用し、商業社会を伸展させることによって徴税システムを導入、将来ともに安定した国家財政を築くことでわが国を世界に通用する国家に発展させることを念願していたと思われる。

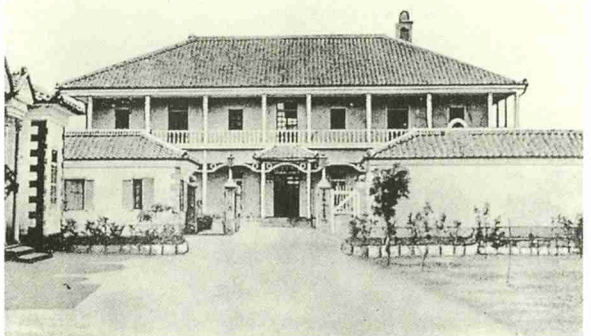
明治三年（一八七〇）に設立された物産取引所（東洞院六角下る）や西陣物産会社（油小路一条北）は、このような政策を先ず府政に生かそうとしたもので、大丸の下村正太郎しもむらしょうたろうや三井源右衛門みついでんなどの豪商が筆頭となり、低利資金の貸付、営業鑑札の発行と監督を行い、商工業の発展に努めました。また一方、覚馬は貿易の重要性をも強調しています。この問題についても管見の「条約」「商律」に記される如く、外交上の問題に対応できる条約の取り決めや、貿易船、船荷、船員に至るまでの保険、並びに、株式会社の設立を始め



勸業場 明治4年（河原町二条南）

写真提供：京都府立総合資料館

とする商法の確立にまで言及し、その見識の深さが認められます。この貿易計画に従った京都府は、早速、兵庫県と交渉し、神戸市松屋町の松屋四郎太夫に京都府御用達を命じ、その居宅を府下物産売捌所とし、更に、神戸港に京都商會を設立、ドイツへの京人形の輸出を行い成功します。この成功に味を占めた松屋は、覚馬の取り計らいでドイツから汽船ベルリン号を購入しますが、船舶や通商に関する無知が災いし、関係者の間で意見が対立、府当局や覚馬がその調停に努力をしたにも拘



舎密局本部

写真提供：京都府立総合資料館

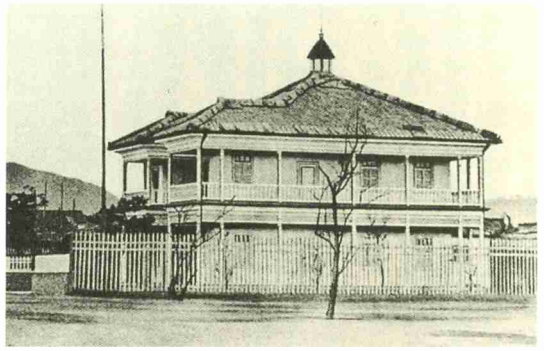
らず、物産売捌所は解散し、汽船も大蔵省に買い上げて貰うという、とんでもないエピソードがありました。しかし、その後、貿易に関しては紆余曲折を経ながらも織殿や染殿が設立されるに至り、貿易品としての織物、染物の大量生産に成功、順調に推移しました。物産売捌所



岡崎公園内の  
ワグネル博士顕彰碑

ラムネやレモネードなどの製品が売り出されたといえます。また、ワグネル博士の指導により、ヨーロッパ式の七宝や陶磁器の製法

が解散した翌年、勸業場が河原町二条下る（現在の京都ホテルの場所）にオープンします。府はここに勸業課を設置し、物産取引所に代って資金の融資や貿易の奨励を促進したほか、物産品の陳列や新規事業の企画、監督をするなど、より一層産業の発展に努めました。明治三年、府は失業者の救済を目的とした授産場を中売に開設します。ここでは失業者に対して適当な職業をあてがったほか、入場者の職種に応じて職業指導なども施し、その間の賃金も支払うなど、現在の職業安定所と職業訓練所を兼ね備えた機能を持っていたといえます。時を同じくして府は舎密局も設立しました。これは、京都の人々に科学的思想を植え付けるため、ヘールツ博士やワグネル博士などの諸外国の優秀な科学者を迎え、理化学に関する講義や実験を行いました。そして、それらの成果として薬剤や石鹼、



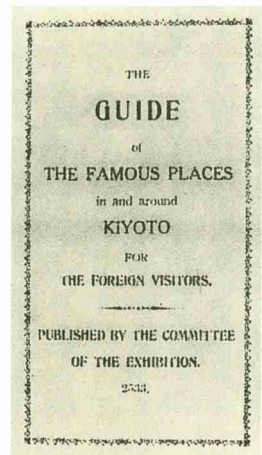
アポテキ 新町上立売付近

写真提供：京都府立総合資料館

が伝授され五条坂や粟田口の産地を中心として京都の特産品となりました。

上立売通新町西入るにはアポテキが設けられ、オランダから輸入された機械や薬品によって薬物の検査や薬の調剤が行われています。これは模範的な薬局であり、当時既に医薬の分業が行われていたのです。

覚馬が新たに提案した産業の一つに皮革産業があります。彼の薦めによって西洋式皮革製作所を七条の高瀬川沿に設けた府は、ドイツ人レーマンの指導で製革を行います。そして、この産業が将来に亘って発展すると見るや、上桂村に製作所を移転し大々的に洋靴



の製造を開始しました。

産業の発展と都市機能の充実に必要不可欠である集人力を付ける目的で、明治四年、府は日本最初の博覧会を開催します。第一回は知恩院と建仁寺を会場に開催されましたが、これは江戸時代の古物の展覧会でありました。そこで、二回目からは会場を御所に移し、新しい物産品なども展示すると共に種々のイベントなども加え、博覧会としての機能を十分に発揮するようになりま

す。覚馬はこの博覧会を契機として、外国人が自由に国内旅行ができるよう中央政府に働きかけ、京都への外国人旅行者の誘致に成功しました。これに対応するため、彼は自ら英文の案内記を書いたと言う事です。

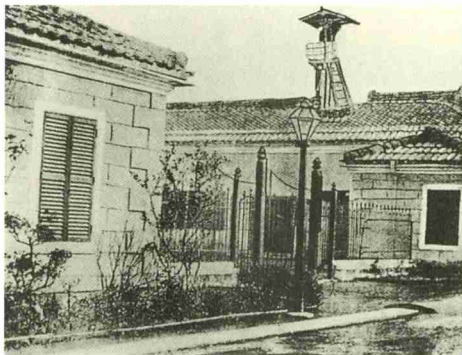
国家繁栄の基礎は、まず人材の育成であることは覚馬の持論であり、明治新政府も同意見でありました。この趣旨に添うべく、明治元年九月、京都府は小学校設立計画を発表、明治二年五

外国人観光客の為、覚馬が作製した最初の英文京都案内パンフレット

写真提供：京都府立総合資料館

月二十一日、日本最初の近代的小学校・柳池校が開校します。それに続いて各学区でもその後を追いつ、十二月までに市内に六十四の小

学校が開かれるようになります。学校建設の費用はその半分を京都府が負担し、それ以上の金額は市内の富豪の寄付によって賄われ、運営資金については官費は一切支出されず、学区内の各戸に命じて毎年均等に負担させたといえます。しかも、この運営金の出納は、各学区の自由裁量に任せました。今日、市内の小学校が統廃合される中、学区に対する区民の思い入れが激しいのは、こうしたところ



創立当時の柳池小学校 明治2年 (1869)

写真提供：京都府立総合資料館

ろにも原因があるのではないでしょう

か。

明治四年一月、旧所司代屋敷跡(堀川通り竹屋町・現在ひまわり幼稚園)に日本最初の府立中学校が開校します。

最初は国、漢、数学を教える傍ら、覚馬も自ら西洋の憲法論を特別講義し、知事以下の官員までもが聴講に訪れました。その一方で、英、独、仏語を教える欧学舎がそれぞれ場所を異にして設けられ、お雇い外国人によって語学の指導が行われました。この学校は二年後に現在の府庁の地に移転され、国、漢学を教える立正校や数学校を統合した高等教育の場となります。しかし、当時はまだ高等教育に対する一般の認識は少なく、広く一般から学生を募集し、学資を払えないものには学費支給という特典を与えたにも拘らず、修学者は僅かに三十名に止まったと言われています。

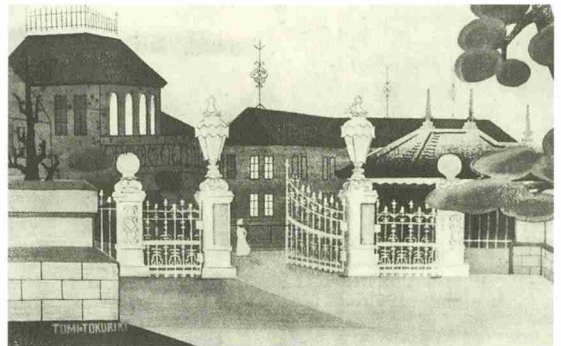
覚馬は「管見」の中で、これからの日本を背負って立つ優れた子供を産み、育てるためには、夫婦ともに健全な精神や知能をもつ必要性から、女子教育の重要性を説いています。これを実現させるため、明治五年(一八七二)、土手町丸太町下るの旧九条邸に、これも日本最初の女学校を開校します。正式



新英学校女紅場（丸太町橋西詰）

写真提供：京都府立総合資料館

名称は「新英学校及び女紅場」と称し、華族や士族の子女に英語及び高等の和洋手芸、生け花、茶道など、女子に必要な学問を教えるために設けられました。間もなく一般庶民の子女たちも入学が許されるようになり、学生数は中学校の少なかつたのに比べ七十八名を数え、教授陣には、英国人のイーバン・ス夫妻を始め、榎村の秘書や覚馬の妹・八重子、千家や池の坊など、多くのエキスパートが当りました。このように覚馬の教育に対する情熱は止まる所を知らず、明治八年（一八七五）、新島襄と結社し同志社英学校を開校しますが、これについては本誌第十号に詳しく書きましたので今回は省きます。覚馬は外国と比較してわが国の医学並びに医療制度について、その遅れを「管見」の中で指摘しています。それまでの医学界は、医師の実力より門閥が重視されていきました。彼は先進的な観点から医学界の正しい在り方、即ち、外国にも通用する医療技術を持った医師を育てる必要性を説きます。しかし、当時の京都府にはこの計画を実行するための資金がありません。そこで、一般市民および寺院に呼び掛け寄付を募ることにします。この寄付集めに協力したのが、当時府の医務掛長であった明石博高であり、岡崎の願成寺の住職と謝野札厳並びに金閣寺、銀閣寺の住職であります。その結果、粟田口の青蓮院の



錦絵 府立病院

写真提供：京都府立総合資料館

広大な境内を無料で借り受け、明治五年、府立医療院と医学校が開設されました。この仮院はあくまでも治療のほが主体ではありましたが、原書を読むための語学担当教員や海外の優秀なドクターなども高給で雇い入れ、医学教育にも力を入れています。また、入学試験もなく広き門を開いたため、医家の書生を中心に五、六十名の生徒が集まったといわれます。その一方で、市中の開業医に対しても内科や産婦人科の講義をするなど、医学の発展に貢献しました。やがて、本院を現在の府立病院の地に建設することが決まり、明治十三年（一八八〇）、およそ六

万円の費用を掛け府立療養病院が竣工します。この間にも、付属病院として南禅寺に癲狂院（日本最初の公立精神病院）を、建仁寺には駆黴院を設けます。駆黴院とは、娼妓の性病検査を目的とした施設で、性病の蔓延を予防するため特に覚馬が府当局に設置を要望したものです。

### 小野組転籍事件

明治六年（一八七三）、京都の豪商小野組が府に対し東京への転籍届けを提出します。これを許可しなかつた府と小野組との間で争われた訴訟問題が、やがて中央政府の行政、司法を巻き込んだ大事件に発展します。

この頃、小野組は三井、島田と共に京都における大富豪として厳然とした地位を保っていました。小野一族は、明治維新に際し官軍の勘定方として、新政府に協力し、その功績によって大蔵省の為替方を委任されると共に、全国四十余府県の為替業務を一手に行っていました。しかし、当時、政府の御用商人が為替業を営むには、戸籍謄本が再三必要でした。その都度、京都より謄本を取り寄せる不自由を強いられていた小野組は、これを理由に東京への転籍を届け出ます。一方、京都府は、

天皇の東京遷都によって地盤沈下の甚だしい京都の経済を立て直すため、どうしても小野組の経済力を必要としていました。

明治六年四月、小野助次郎が神戸へ、それに続いて小野善助と善右衛門が東京への転籍届けを府庁に提出します。助次郎は生糸貿易の關係で神戸の支店を拡大するためでした。この転籍届を見た榎村は「危急存亡の京都を見捨てる」と、烈火の如く怒り、転籍を容易に許可しなかったばかりか、彼等を府庁の白洲に呼び出し荒筵の上に座らせ、罪人のごとき尋問を行った上、その中止を勧告したといわれます。この取扱いに腹を立てた小野一族は、直ちに京都裁判所に長谷知事と榎村大参事を提訴。裁判所も、一地方官が住民の移住を妨げることを禁じる司法省令に反するものとして、小野組に勝訴の判決を下します。この判決を不服とした府側は、裁判所から要請された受書の提出を拒んだため、この態度に立腹した裁判所長・北島治房は司法省に上申、中央政府に判断が委ねられます。その結果、榎村は東京で拘禁されることになりました。この問題は表面的には一地方の係争事件ではありますが、中央政府内の薩長閥に対する不満を如

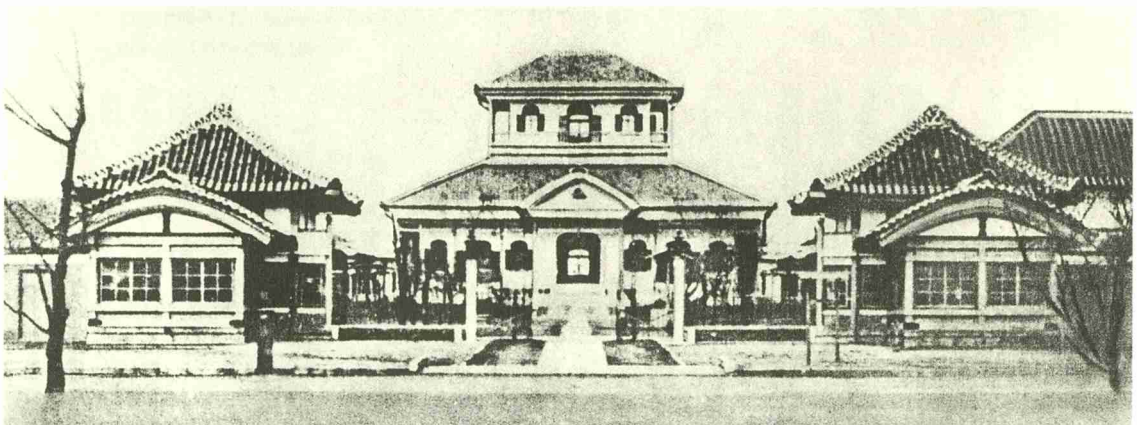
実に表したものとさえいえます。

その問題はさて置き、京都にとつては小野組のみならず、舵取的存在の榎村までも奪われるという窮地に直面します。この事態を重く見た覚馬は、京都のため不具の身をも顧みず榎村奪回に立ち上がりました。明治六年八月、盲目の上、歩行も困難な覚馬が、交通事情も未発達な東海道を東京へ向かうのは並大抵ではありません。妹・八重子に付き添われ、人力車を乗り継ぎ一路東京を目指して飛ばす彼の脳裏には「何とか京都のために榎村君を釈放せねば、京都の首脳者に縄目が掛かってはならん」という思いが去来して止みませんでした。横浜からは前年開通したばかりの汽車に乗り、東京に辿り着きます。休む間もなく八重子の背に負われた彼は、右大臣岩倉具視を始め参議木戸孝允、江藤新平を訪ね「今、榎村を失つては京都の将来はありません」と、榎村の釈放を訴えます。特に、榎村の上司である木戸のもとへは度々訪れました。しかし、木戸としても自分の腹心である榎村を救い出したい気持ちには山々であったでしょうが、長州閥に対する不満が沸騰している当時の政府内で、彼の処遇を決定するには慎重をきさねばならなかったでしょう。

こうした中、明治六年の政変が起こります。西郷隆盛、板垣退助を始めとする征韓論支持者が敗れ総辞職し、大久保利通率いる薩長閥を主軸とした内閣が誕生します。そしてその年の十二月末、覚馬の献身的な説得と木戸の努力が実り、岩倉の政治的判断で榎村は釈放されます。この事件は、司法権への挑戦であったでしょうが、榎村をそこまで駆り立てるほど当時の京都の経済状況は切迫していたのです。そして、その榎村救済のため四ヶ月に亘り不自由な身を東京で奔走した覚馬の行動は、ひとえに京都の近代化とそれに対応する榎村の実行力を確信していたからでありましょう。

### 京都府会議長

府県会規則の発布に伴い、明治十二年（一八七九）、京都府会が開設されます。第一回府会は上京区から選出された覚馬等を始め下京区と各郡部から送り込まれた九十五名の議員によって構成されまし



現在の府庁の地に移転された中学校。中央の建物が講堂で、左右の校舎はそれぞれ国・漢学、数学、外国語等に分かれていた。尚、初期の府会は中央の講堂で開かれていた。



た。この府会によって彼は初代の議長に選ばれます。しかし、当時の府会において榎村知事など、行政を相手に充分な議論を戦わせるのは覚馬など数人でありました。議長という地位が、審議においては個人的発言を制限されることから、彼は時々副議長を議長席に着かせ、自分の意見を述べたといわれています。それは卓越した彼の見識と府民の代表であるという自覚がそのような行動をとらせたのでしょう。

こうした中、明治十三年五月に開かれた通常府議会において府側から提出された地方税追徴課税の問題では榎村知事との間で正面衝突が起きます。この地方税徴収案は明治十二年の本会議で可決されたものでありましたが、府知事は物価高騰を理由に府会の承認を得ず追徴課税を布達し、事後承諾という形でこの通常府議会に提出されました。府会はその理由が明解でないとして異議を申し立てますが、榎村知事は高圧的態度でこの反発をかわそうとします。しかし覚馬は知事の専断に対して毅然として立向かいます。彼は、府会会の規則において地方税の収支予算を議定する権限は府会に与えられていると主張し、この一件についての伺書を内務卿・松方正義に提出、飽く迄も

正当な府会の立場を貫いたのでした。官尊民卑の政治形態が存続する中、傲慢な知事と抗争を続け、地方自治のため府会を勝利に導き万機公論による新しい政治を目指した彼の努力は、京都府政に大きな足跡を残したと言えます。

### 晩年とその弟子たち

山本覚馬が文明開化期の京都発展のために尽くした業績はまだまだ枚挙にいとまがありません。しかし、彼は京都の新しい文化や産業が具体化される、後進に道を拓くため自ら府会議長の要職を退き、商工会議所会長の椅子をも譲り、自宅に閑居して余生を送ります。そうした中でも彼の業績を慕い教えを請うため多くの人達が居宅を訪れたと言います。彼もまた、客を好み、来客があれば必ず面談して、時局を論じ、あるいは懇切に指導をしたようです。彼に教えを請うた人達は、濱岡光哲を始め、後に滋賀県知事や東京府知事を経任した松田道之、大阪府知事になった藤村紫郎、山下汽船の創業者・山下亀三郎、商工銀行頭取の田中源太郎、日本石鹸会社社長・中村栄助、京都電灯会社を興した大沢善助、衆議院議員になった雨森菊太郎、垂水新太郎など、数多くに上ります。

晩年は弟子たちが来ると彼等に新聞を読ませ、時事や処世の道を説き、静かな余生を送ったと伝えられています。こうして明治二十五年（一八九二）十二月二十八日、その波乱に満ちた六十五年の生涯を静かに閉じました。そして、その遺骸は若王子山にある新島襄の墓の隣に葬られました。



若王子の同志社共葬墓地にある山本覚馬の墓

花にまつわるエピソード…  
季節も添えて演出します。

FLOWER OFFICE  
**花工房**

2F カフェ

全国どこへでもお花をお届けいたします。  
京都市上京区烏丸通今出川下ル 〒602-0903  
TEL. 075-414-8700 (代) FAX. 075-414-7787

RISTORANTE  
**FUKUMURA**  
7763

AM11:00~PM3:00 PM5:00~PM9:00  
〒604-8054  
京都市中京区富小路四条上ル路地  
☎(075)255-2060

定休 火曜

**Ciao Pasta**  
チャオ パスタ

AM12:00~PM10:00  
〒604-8032  
京都市中京区六角通河原町東入ル  
☎(075)255-5733

年中無休

# 上京区民サークル発表会

四回目を迎えた「上京区民サークル発表会」は、上京区民ふれあい事業の一つとして、三月二日の午後、ウイングス京都で行なわれました。上京区各地区の女性会など各種のサークルの熱演に、三時間の舞台は拍手が鳴りやみませんでした。

## 第4回上京区民サークル発表会

主催 上京区民ふれあい事業実行委員会・上京区役所  
主幹 上京地域女性連合会



## 上京区民サークル発表会

主催 上京区民ふれあい事業実行委員会・上京区役所  
主幹 上京地域女性連合会



外科・胃腸科・小児科・整形外科

肛門科・小児外科・泌尿器科・放射線科

# 吉岡病院

診療時間 午前9時～午後12時半・午後6時～午後8時

土曜 午前9時～午後12時

日曜、祝日、土曜午後 休診

〒602-8462 京都市上京区浄福寺通今出川下る

☎(075) 451-0164

〒602-8462 京都市上京区浄福寺通今出川下る

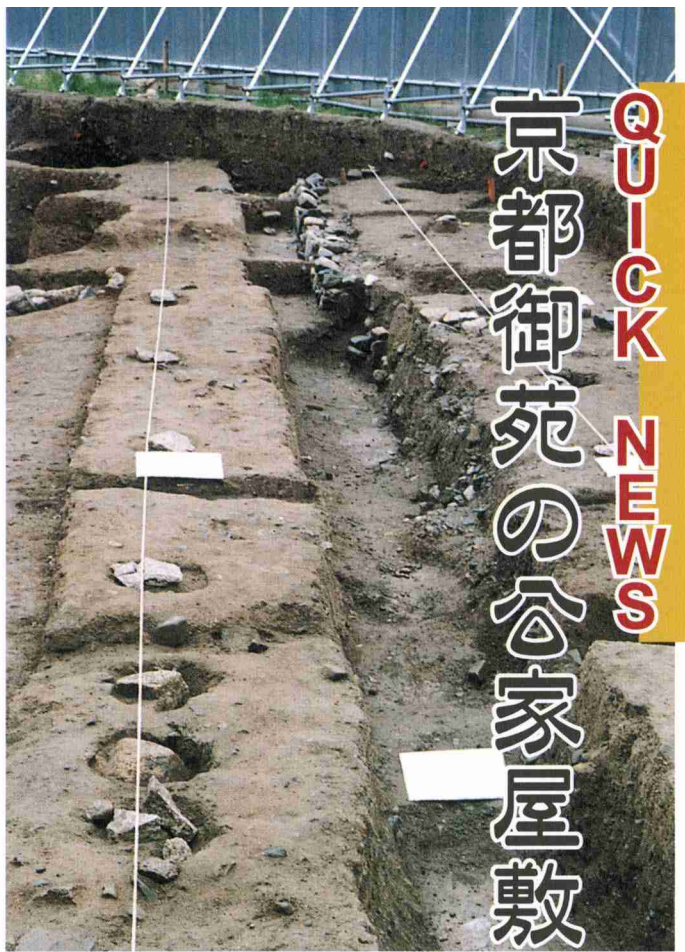
京・上御霊前烏丸西  
☎〇七五・四四一・〇六一〇代

祖元  
ぼたん鍋と  
京料理

畑か〜



# 京都御苑の公家屋敷址発掘



ようです。  
 火災ではなく、移転によって取り毀されたために什器類は東京へ移された  
 ようで、完形の遺物は少なく、肥前陶  
 磁器、京・信楽系陶器、瀬戸・美濃系  
 陶磁器、丹波陶器、堺・明石系陶器に

加えて、中国磁器や土師質土器などが  
 見られます。いずれも中流公家の日常  
 雑器と思われる、ベトナムやイギリスの  
 陶器、それに輸入ガラス製のボトルも  
 ありました。  
 このあと、さらに掘り下げられます  
 が、この下に『寛永十四年洛中絵図』  
 に見える間口十四間半（約三十メー  
 ル）の「ちくさ（千種）少将殿」の屋  
 敷も埋まっていると思われ、さらに掘  
 り進めば平安時代の地層に達するとこ  
 ろから、何が出てくるか楽しみにした  
 いものです。  
 なお、今回の発掘範囲は予定地のご  
 く一部で、グラントを移転させながら  
 順次発掘が続けられるそうです。  
 （写真と文、出雲路敬直）

京都御苑の東北部、饗宴場広場では  
 和風迎賓館の建設をひかえて、京都市  
 埋蔵文化財研究所により埋蔵文化財の  
 発掘調査が行われております。その最  
 初の現地説明会が六月十三日にありま  
 したので、垣間見たところを紹介いた  
 します。  
 今回の発掘は明治二年に公家屋敷が  
 東京へ遷ったあと取り毀されたところ  
 で、地表面にごく近く、最も新しい遺  
 構です。ここに住まったのは雅楽・神  
 楽を伝えた園家（旧伯爵）で百八十七

石でした。遺構は礎石建  
 物・柱穴・柱列・井戸・  
 溝・石組遺構・通路ごみ  
 捨て土壇・瓦溜土壇・集  
 石土壇などが検出されて  
 います。石垣をもつ溝に  
 沿って小礫が敷かれた通  
 路や漆喰を固めた池など  
 があります。上質の壁  
 土である聚楽土の層が分  
 布するために土取りされ  
 て、遺構も失われている



# ”残照”の中で



憲法月間の行事として上京区民ふれあい事業実行委員会と上京区役所の主催で「講演と映画の集い」が五月九日に、ホテルニュー京都で行なわれました。京都市製作の啓発映画「残照の中で」の上映に先立ち、監督をされた丘乃れい氏の「すべての人が幸せに生きられる社会を―映画”残照”の中で”の背景から」と題した講演を聞きました。その講演の中で次のようなことを強調されました。

今まで私は差別と戦う人を書いてきました。ところが今度は差別から逃げ

た人を書いたのです。最初、啓発映画を一つの使命感から考えますと、逃げたという人を描くこと自体に力がないのです。ですから私の中で非常に戸惑いながら、啓発映画としてこういう人を書いて果たしていいのだろうかという迷いを身体の中に持ちながら、しかし書いてみたい、そういう人だったんです。それで強引にこういうことから逃げた人を描かせてもらったんです。出来上って、こういう形の映画もあって良かったんだなあと思うことができました。

憲法が作られて五十一年、世界人権宣言が行われて五十年。この五十年の間、本当に変わりました。特にこの人権という問題に関しては、日本は本当に変わってきました。これは大きな成果でした。何よりも解放運動というのが起こってきたところに、この成果が見られています。そういう中で私は何本も映画を書いてきたわけですが、その中で啓発映画というものが、いつまでも特殊映画であってはならないという強い思いを持つようになりました。

それは何も部落問題を希薄にするという意味においてはありませぬ。部落

問題をしっかりとらえながら、啓発映画というジャンルを越えた人間ドラマとして完成することができないのか、型にはまったものでなく本当に生きていく一人の人間として共感してもらえないような、当たり前の映画作りの中に、このテーマを提供することができないものだろうかという思いを強くしました。その思いをこの映画に冒頭として試みたのです。



☆第八回「上京区民ふれあい史蹟ウォーキング」は、十一月十五日に行なわれます。

心の温もりを伝えようと

## 絵手紙教室に集う

上京区文化振興会主催の「絵手紙教室」が、六月三十日から七月二十八日までの毎週火曜日に、上京区役所で開かれ、三十名の方々が参加されました。講師の八木鴻石先生の指導で、親しい方に心のこもった手紙を書こうと真剣なまなざしで、絵筆を動かしていました。参加者からは「ありきたりの手紙でなく、受けとった方に楽しんでもらえるような手紙を書きたいので参加しました」との声もあり、熱心に作品に取り組んでいました。





春

の

上

京

茶

会



平成十年春の「上京茶会」は上京区文化振興会の四十周年を記念して、五月二十四日に大徳寺山内の総見院において行なわれました。織田信長ゆかりの寺での表千家家元の懸釜とあって、折柄の観光客も含めて四百人の来客で賑わいました。

会 記 (本 席) 主 不審菴

東の間掛物 印象筆 竹鳩の絵

掛物 碌々齋 衆花盡處松千尺

群鳥喧時鶴一聲

花入 即中齋好南紀檜籠

花 七段花、撫子、黄ほととぎす

香合 惺齋好鎌倉彫鶴七ツの内 共箱

銀水色重ネ紙釜敷シキテ

惺齋好ツボツボ透シ琉球風炉、刷毛目

切合セ釜 浄長作

覚々齋好黒搔合セ丸敷板シキテ

即中齋好腰金風炉先屏風 吉兵衛作

惺齋好春慶糸巻二重棚

水指 惺齋好古染付写竹の絵 妙全造

茶器 即中齋好青貝入蛸早苗雪吹

元齋宗哲作

茶碗 啄元作 赤平 惺齋箱

替 即中齋好仁清写鳳凰の絵

共箱 即全造

茶杓 碌々齋作 銘常夏 共筒

建水 黒砂張 エフゴ 浄益作

蓋置 シズ 惺齋箱 丙寅秋垂水ヨ

リ持帰ルトアリ

松の木銘々盆二

菓子 青梅 嘯月製

茶 而妙齋好珠の白 柳桜園詰

副席 主 三国操氏

# 上京クイズ



前回の正解は

## 引接寺の十重石塔

千本閻魔堂として知られる引接寺（千本芦山寺上ル）の境内北西隅にある多層石塔です。二重宝塔と十三重石塔の残欠を積み上げたところから、十重塔として重要文化財に指定されています。

一重目には四方に四仏をあらわし、南北朝時代の至徳三年（一三八六）に僧阿阿が勧進して建立した銘があつて、その由来を明らかにしています。また、紫式部の供養塔ともいわれています。

## 編集後記

▽秋の行事が多かった前号は、山本覚馬を主題にする「上京の史蹟」に十分な誌面を割けなかったために、続きを期待される読者の声に応え、「美を創る」を休ませていただき、一挙に掲載いたしました。

▽表紙の写真は、発行日に合わせて上京区から見た大文字送り火を撮影者の濱岡昇氏から提供していただきました。▽秋には上京区民ふれあい事業が相次ぎます。区民の参加をお待ちします。

(い)

## 読者の声

○上京に産まれて育ったものとして、そこそこ知っているつもりですが、まだまだ委しい事が知りたいと思います。

(出水・熊内茂雄)

○狭い上京でも探訪には広い所です。

(仁和・成尾吉弥)

○行きたかったけれど、行けなかった三瀬先生の人権月間講演会が大へんよかったです。

(翔鷲・井元剛)

## これはどこでしょう??



○正解者の中から抽籤にて二十名の方に記念品をお送りします。

○締切 平成十年九月十五日

○正解と住所・学区・氏名・電話番号を記入の上

〒六〇二・八五二ー 京都市上京区

今出川通室町西入 上京区役所

地域振興課「上京・史蹟と文化」

宛てにハガキでお送り下さい。また

本誌の読後感もお書き下さい。

永年の信用と実績・真心のこもったご奉仕

葬祭センター

京都

# 公益社

本社 京都市中京区烏丸通三条下ル ☎(075)221-4000(代)  
 北公益社 京都市北区紫明通堀川東入 ☎(075)431-7121(代)  
 中公益社 京都市東山区五条通東大路東入 ☎(075)551-0042(代)  
 南公益社 宇治市横島町(文教大学前) ☎(0774)20-0042(代)

●葬儀式場

公益社ブライツホール/京都市東山区五条通大和大路 ☎(075)551-5555(代)  
 公益社横島会館/宇治市横島町(文教大学前) ☎(0774)20-0142(代)  
 公益社滋賀会館/大津市朝日が丘1丁目 ☎(077)523-0042(代)

断ちきろう 身近な差別を 私から



HUMANITY PLANNING  
YASUO IZAWA OFFICE  
Co., LTD.

人々との出会いを求めて  
井澤保夫事務所は  
コミュニケーションスペースです。

一つのもの創りを通じ  
マネジメントからイメージ創りまで  
築きあげてきた幾多の実績を元に  
トータルプランニングの  
お役に立ちたいと存じます。

私たちの基本ポリシーは

「人と人との関わりから、  
もの創りがはじまります。」が  
テーマなのです。

お客さまとのコミュニケーションが  
一番、大切であると確信致しております。

どうぞ、お気軽にオフィスにお立ち寄り下さい。  
ビジネスのこと。

世の中のこと。

人生のこと。

いろいろ話し合いながら、

何か新しい夢をご一緒に見つけてみませんか。

主宰 井澤保夫

人と人との関わりから、もの創りが——。

株式会社 井澤 保夫事務所

〒605-0826 京都市東山区高台寺樹屋町354

Tel & Fax. 075-525-6301

#### STAFF

スペースプランナー ■ 佐藤利明

メディアプロデューサー ■ 東藤秀明

ビジュアルプランナー ■ 西村五子

メディアプリンティング ■ 小野昌二

インテリアプランナー ■ (株)トキハ

一級建築事務所 ■ (株)L・E・C

マルチメディアソフト開発 ■ (株)ジャイブメディア